



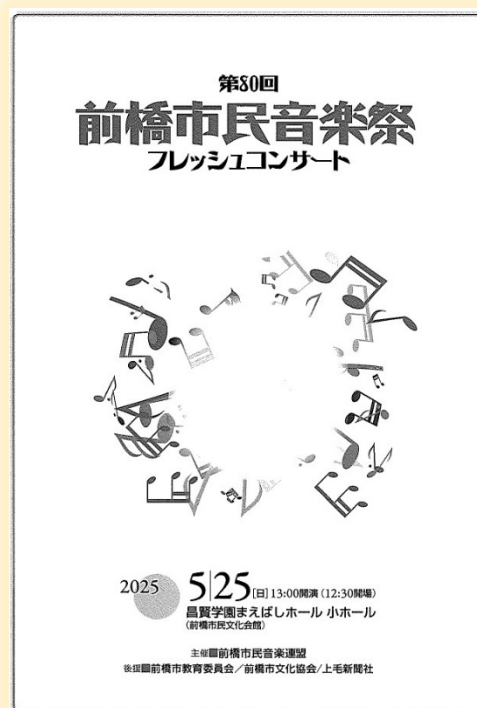
59

混声合唱団ソノラメンテでバッハを歌う 独唱も

5月25日に行われた前橋市民音楽祭に混声合唱団ソノラメンテのメンバーとして出演し、バッハ・グノーの「アヴェマリア」と組曲『夜空の記憶のどこかに』の1曲目「星は何を」を演奏しました。続いて、6月1日のヴォーチェ・リリカ コンサートにも混声合唱団ソノラメンテで出演し、ここでは独唱での出演も叶いました。

組曲『夜空の記憶のどこかに』は、名古屋の合唱団ノースエコーで歌いましたが、当時は他の団員に比べて私は練習不足でしたので心残りの演奏となりました。そのようなことから、いつかまた歌いたいと思っていたところ、宇都宮の混声合唱団コール・ミリオネアでこの曲を提案したところ採用され、2024年9月のコンサートで演奏することができました。

前橋の混声合唱団ソノラメンテでも「何か良い曲はありませんか」と聞かれこの組曲を提案したところまた採用していただき今回第1曲目をステージで披露しました。良い演奏ができたのではないかと考えていますが、多くの方々からも好評だったと聞いております。



7. 混声合唱団 SONORAMENTE (18名) —— 指揮 小林 芙佐子 / ピアノ 加藤 裕子
 Ave Maria 作曲 バッハ / グノー / 編曲 Kiminabe
 混声合唱とピアノのための組曲「夜空の記憶のどこかに」から
 “星は何を” 補作詞 佐藤 賢太郎 / 作曲 佐藤 賢太郎



ヴォーチェ・リリカとは、混声合唱団ソノラメンテを指導しておられる小林芙佐子先生がご指導している団体や個人や小林先生の音楽仲間の集まりで、毎年1回この時期にお披露目しているとのことです。

私も独唱での参加も認めていただき、ピアノを混声合唱団ソノラメンテの団員でもある横塚様にお願ひし、テノールのかわいい曲で真っ先に思いついたバッハのカンタータ140番の4曲目の曲を演奏できるという夢のような機会をいただきました。自分としては会心の出来と思っています。

2,独唱 齋藤 茂樹

Pf 横塚恵子

カンタータ第140番

目覚めよと呼ぶ声が聞こえ より4曲目 テノールのアリア

バッハ作曲



ヴォーチェ・リリカコンサートは温かい雰囲気のととても良いコンサートでしたが、お客様がたいへん少なく、来年はもっと盛り上げたいと思いました。

〔 齋藤茂樹の北関東巡り バックナンバー 〕

#1 鎌倉殿の13人	#21 第50回宇都宮市民合唱祭	#41 伊勢崎市の歴史／バレンタインデー
#2 紅葉の群馬県	#22 骨波田の藤と塙 保己一	#42 第51回宇都宮市民合唱祭
#3 栃木、埼玉の名所	#23 大室古墳群、鼻高展望花の丘	#43 古の音 スペイン黄金世紀のピウエラ歌曲
#4 栃木、群馬県庁	#24 桜とあじさい、紅葉の太平山	#44 池 大雅 ― 陽光の山水
#5 全国御守り特集	#25 ドン合唱団 歌い続けて65年	#45 富岡製糸場と絹産業遺跡群 田島弥平旧宅
#6 世良田東照宮・家康	#26 宇都宮市民芸術祭合唱フェス	#46 古代蓮と田んぼアート 埼玉県行田市・古代蓮の里
#7 栃木・益子の陶器	#27 第63回群馬県合唱コンクールを聴く	#47 SUBARU航空宇宙カンパニー
#8 奥の細道むすびの地	#28 お盆飾りを調べてみた	#48 秋の演奏会シーズン到来
#9 古鎌倉街道	#29 KTC混声合唱団を聴く	#49 銅山の歴史を語る日鉱記念館
#10 新田義貞・上毛かるた	#30 伊勢崎藩を守れ！天明浅間山大噴火	#50 上州神社巡拝 神玉巡り
#11 慈覚大師 円仁	#31 陶器・像形展から銀座・日本橋界限を散策	#51 床もみじ リフレクション、床に映える世界
#12 バレンタインチョコ	#32 宇都宮芳賀ライトレール線開業	#52 日清製粉「製粉ミュージアム」、田中正造記念館など
#13 梅の名所 愛知・京都	#33 第14回男声合唱フェスティバルin宇都宮	#53 2024 年末に聴いたコンサート
#14 梅の名所 栃木・群馬	#34 コーア・リヒト 第5回演奏会	#54 冠稲荷神社&バレンタインチョコ
#15 早咲きの河津桜	#35 江戸城周辺散策	#55 関東三大梅林のひとつ 越生梅林
#16 シアトルの花見	#36 古巣の合唱団ノース・エコーとボーイング	#56 宇都宮市民合唱祭・ドン合唱団「この街で」、航空…
#17 宇都宮市民合唱祭	#37 4泊5日の日光満喫旅行	#57 復活祭ミサに参加 カトリック前橋教会
#18 桜の名所 愛知・兵庫	#38 日光で新たな発見！	#58 高崎の地に建つ 新田義重騎馬像
#19 群馬の桜と上毛かるた	#39 水戸バツハコレギウムを聴く	
#20 交通の要所 館林	#40 笠間焼 益子焼 かさましこ	

Back

「齋藤茂樹の北関東巡り」TOPへ戻る

Home

「ホームページ」表紙へ戻る